

伯日議員連盟及び伯日議員戦線レセプションにおける梅田大使挨拶

(2015年3月25日(水))

皆様こんにちは。

本日は、多くの議員の方々にお集まり頂き、大変感謝致します。また、特に日伯関係の強化に向けて日々精力的に活動頂いているタカヤマ議員そしてニシモリ議員に心より感謝致します。

現在、ブラジルは多くの困難に直面しており、国際社会からの注目を浴びています。ただし、ブラジルには民主主義が定着し表現や報道の自由、司法権の独立、法治主義が確立されており、統治機構は強固。日本は、ブラジルがこの困難を克服し、更なる成長と繁栄を達成されると確信しています。

昨年8月に安倍総理大臣が訪問した際、総理は、ブラジルは、海外最大の約160万人の日系社会と約19万人の在日ブラジル人コミュニティが存在し、人的な絆を通じた特別な関係があることを確認しました。ブラジルは、世界有数の親日国であり、多くの日本人がブラジルに好感を有しています。また、日本とブラジルは、セラード開発、造船、製鉄、セルロース、アルミの分野で共同プロジェクトを実施。また、人材育成への協力や草の根人間の安全保障無償資金協力等を実施しています。さらに、日本企業もブラジルへの進出・投資活動を活発に行い、今日では、ブラジルは世界第7位の経済大国であり、日本企業の進出数も、2009年から13年の間に約350社から約700社へと倍増しています。

今日、日伯はお互いの国を更に発展させる観点から、官民が一体となり、様々な分野での協力を進めています。例えば、産業人材育成の分野では、3年間で造船、自動車部品、廃棄物処理、防災、インフラ、医療保健、治安の7分野900名の研修生受け入れを行います。造船分野では、2014～2018年の5年間に亘り、SENAI 指導官400人を育成し、それを通じた32000人の労働者の能力向上を目指しております。また、医療・保健分野では、サンタクルス病院、日伯友好病院、スギサワ病院、パラナ病院、アマゾニア病院といった日系病院に対する協力強化を通じ、ブラジルの医療環境の改善に取り組んでいます。治安については、日本の交番制度をブラジル全27州に設置するための協力を始めております。更に、農業分野においても、農業・穀物輸送の分野における協力を推進したいと考えております。環境分野においては、例えばトメアスのアグロフ

オレストリー農法普及を通じ、アマゾン熱帯雨林の保全に務めています。

今年は、日ブラジル外交関係樹立120周年を祝う記念すべき年です。花火ショーや日伯共同プロジェクトの展示会など120周年を祝う100以上の行事がブラジル全土で開催される予定です。また、二国間の高いレベルでの人材交流も期待されております。昨年8月の安倍総理訪伯に続き、今年には是非ルセーフ大統領に訪日して頂きたいと考えておりますし、また、皇族の来伯も期待されています。更に、この節目の年に、議員交流も活発化させたいと考えておりますので、皆様方のご協力とご支援をよろしくお願い致します。

今後、日伯関係の相互理解が深まり、二国間関係が一層強化されるためにも、引き続き議員の先生方からのご支援ご指導を賜りたいと思いますので、よろしくお願い致します。

(了)